

(1) ストップ!! 絶対にやってはいけないこと →早すぎるスタートは逆効果です。英語で挫折しない・英語嫌いにならないためにも、ある程度の理解力がついてから (小5程度) で間に合いますし、そちらの方が良い結果が出ます。

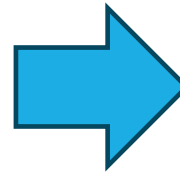
【小学校での英語教科化がもたらしたもの】

・国を挙げて国民の英語力をあげるため、2022年より小学校3年生・4年生で「外国語活動」が必修となり、5・6年生で「外国語」という“教科”になった。

・それに伴い、小学生が習得する英単語は600～700語 (→中学校では1600～1800単語) とされた。

※それまでは中学卒業時点で1200語だったため、計2500語というのは単純に倍以上になった。

結果、日本人の英語力はどうなったのだろうか？



【これが現実の結果】

①全国学力・学習状況調査 (全国学力テスト) 中学3年生の「英語4技能」の平均正答率 (カッコ内は前回4年前の結果)

・ 聞く58.9% (68.3%) ▲9.4

・ 読む51.7% (56.2%) ▲4.5

・ 書く24.1% (46.4%) ▲22.3

・ 話す12.4% (30.8%) ▲18.4 ※受験生のうち60%は正答率0%

(2023年 (今年) 7月31日発表。文科省国立教育政策研究所実施)

②「英語の学習が好きではない」と答えた小学6年生：13年度は23.7%→
教科化後の21年度は31.5%

③「英語の授業内容はよく分かります」と答えた中学3年生は64.4%
→62.4%

④「英語の勉強は好きです」との回答は52.3%→48.3%

⑤「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい」と答えたのは37.2%→32.2%

(②～⑤は4年に一度行われている、文科省の調査結果による)